

徳島大学相談・連絡先一覧

・交通事故、事件(盗難等)に遭ったとき(学生支援課/各学務係等)

学生支援課	088-656-7086
総合科学部	088-656-7108
理工学部	088-656-7315
生物資源産業学部	088-656-8021
医学部	088-633-7982
歯学部	088-633-7310
薬学部	088-633-7247

●重大事故・事件で緊急の場合は救急車(119)・警察(110)に通報後、夜間休日はセコム(088-655-4001)に連絡する。但し、軽微な場合は翌日又は休日明けに大学(各学部)へ連絡する。

・体調が悪くなったとき

(キャンパスライフ健康支援センター 保健管理部門)

常三島	088-656-7289	蔵本	088-633-7591
-----	--------------	----	--------------

・学生生活上のなみや問題について

(キャンパスライフ健康支援センター 総合相談部門)

088-656-7637(常三島・蔵本共通)

・学生証をなくしたとき (教育支援課/各学務係等)

総合科学部・理工学部・生物資源産業学部	088-656-7095		
医学部	088-633-7028	(医)保健学科	088-633-9009
歯学部	088-633-7310	教育支援課	088-656-7095
薬学部	088-633-7247		

・徳島市に「特別警報(波浪を除く)」、「暴風警報」、「大雨警報」、「大雪警報」、「洪水警報」が午前7時に発表中の場合は午前の授業を、午前11時に発表中の場合は午後の授業を、午後4時に発表中の場合は夜間に開講する授業を休講。授業開始後に警報が発表の場合は、次の時限以降の授業が休講。ただし、特別警報が発表された場合は、直ちに休講とする。



徳島大学 学生便利情報

●徳島大学学年暦

<https://www.tokushima-u.ac.jp/campus/calendar/>

●徳島大学統合認証ポータル

<https://my.ait.tokushima-u.ac.jp/portal/>

●徳島大学教養教育院

<https://las.tokushima-u.com/>

●キャリア支援室HP

<https://www.tokushima-u.ac.jp/career/>

●キャリア支援室・連絡先 TEL 088-656-7635

gkseisyu@tokushima-u.ac.jp (メール)

徳島大学キャリア支援室予約システム

<https://www.tokudai-syusyoku.com/index.php>

●大学での防災・備蓄について

<https://www.tokushima-u.ac.jp/rcmode/business/46584.html>



防災ミニ情報

地震にあったら 屋内編

1. 自宅で

- ・机の下にもぐり、脚をしっかりと握り身の安全を守る。
 - ・頭を座布団などで保護し、揺れが収まるのを待つ。あわてて戸外に飛び出さない。
 - ・揺れて目覚めたら寝具にもぐりこむか、ベッドの下で、身の安全を守る。
 - ・暗闇では、割れた窓ガラスや照明器具の破片に注意。
 - ・入浴中は風呂のふたや湯桶で、鏡やガラスの破損から守る。
 - ・無理して火を消しに行かない、揺れが収まったら火を消す。
 - ・高層階では、長く揺れ、揺れ幅も大きくなる傾向がある。
- ※地震に備えて、家具や物は頭上に倒れ落ちないように配置・固定しておきましょう。



2. 大学で

- ・OA機器などの転倒、落下、滑動に注意。
- ・外へ逃げる時は落下物に注意し、エレベーターは使わない。
- ・教室内では、机の下にもぐって身を守り、あわてて外に出ない。
- ・実験室などでは、薬品や火気に注意し、避難する。
- ・勝手に帰宅せず、教職員の指示に従う。
- ・エレベーターによる避難はしない。エレベーター内なら、全ての階のボタンを押し、最初に停止した階でおりる。

3. 自宅から避難する場合

- ・ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーをおとす。
- ・避難は徒歩で荷物は最小限に。
- ・自動車では避難しない。



地震にあったら 屋外編

1. 住宅地や繁華街の屋外で

- ・ブロック塀や石塀は倒れる危険がある為、揺れを感じたら離れる。
- ・自販機の転倒、瓦やエアコン室外機の落下の危険がある為、そばから離れる。
- ・中高層ビルのオフィス街や繁華街では、窓ガラスや外壁、看板などが落下する危険性がある為、そばから離れる。

2. 海岸や山で

- ・海岸で地震にあったら津波を警戒。近くに高台がない場合は、近くの3階建て以上の建物に上がる。
- ・川原に居たら津波に警戒。流れに対して直角方向に避難する。
- ・山・丘陵地に居たら、落石に注意し、急傾斜地から遠ざかる。

3. 自動車運転、バス乗車中の場合

- ・車から避難する場合、キーはつけたまま、ドアをロックしない。
- ・車に連絡先を貼り、貴重品を持ち、徒歩で避難する。
- ・車での避難はしない。
- ・鉄道・バスに乗車中は緊急停車に備え、手すりやつり革を握る。停車後は、乗務員の指示に従う。

災害用伝言ダイヤルNTT		携帯電話災害伝言版
録音法	①「171」、「1」にダイヤル ②自分の番号をダイヤルし ガイダンスに従い録音	docomo/au/SoftBank等震度6弱以上の地震が発生すると携帯各社のパケット通信メニュー画面が表示される(通常は表示が無く、災害時のみ運用が可能)
再生法	①「171」、「2」にダイヤル ②安否を確認したい相手の番号をダイヤル	

※震度6弱以上の地震等が発生した時には、大学が学生の皆様へ各自のCアカウントメール(C学生番号上9桁@tokushima-u.ac.jp)に配信する安否確認システムに安否情報を登録して下さい。